

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

教育部博物館(新美南吉記念館)

教育部長 岩橋 平武

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
31-001	新美南吉記念館一般事務	なし	B	平成30年度は11月から12月にかけて、空調機器の更新、照明のLED化で臨時休館をしたことにより、年間の入館者数は減少した。しかし、七夕飾りや凧作り体験などの新規ワークショップを充実させたことにより、参加人数は目標値を大きく上回った。新美南吉のことをあまり知らない人に興味を持ってもらうために、また更に理解を深めてもらえるように、各種講座・教室を充実させ、参加者の満足度向上に努める。	改善 推進	新美南吉や文学に親しみ、理解を深めてもらうため、地域の方や企業などとのネットワークを活かしつつ、各種講座等の開催やガイドボランティアの充実を進める。また、全国の南吉ファンのみならず、地元の方々にも楽しんでもらえるよう、南吉に関わる時宜に合った年中行事を充実させる。
31-003	新美南吉童話賞事業	なし	A	半田市内の小・中学校に直接募集要項を配布し、各学校に応募へのPRを行うことができた。このことにより、減少傾向にあり課題であった市内小・中学校の応募数が増加した。また、記念館に直接作品を提出していただいた方に参加賞を配布するなどしたことにより、全体の応募数も増加した。さらにポイントを絞ったPRを行っていく必要がある。	改善 推進	多くの方に募集要項を手にとってもらい、「童話作品を書いてみよう」と思ってもらえるよう、募集要項を魅力あるものにしてPRを行っていく。また、ただ単に自作の童話を書いて応募するだけでなく、新美南吉やその作品に触れてもらえるように、新美南吉記念館に応募作品を直接持ってきた人にノベルティを渡す。
31-005	企画展開催事業(新美南吉記念館)	なし	A	特別展では、神奈川近代文学館を始め全国の『赤い鳥』作家ゆかりの施設と連携することで、南吉に留まらない多彩な展示ができた。日経新聞が取り上げるなど普段とは違うメディアからも注目され、感想ノートや関連行事のアンケートを見ても、幅広い層の関心を集めたことがわかる。『赤い鳥』創刊100年というタイミングを最大限に活かして、児童文学史上における南吉の存在感を全国に示すことができた。	改善 推進	新美南吉の魅力発信という核心を貫きながらも、時宜的な話題を捉え、南吉及びその文学の魅力を毎年の企画展(特別展)の内容に反映することで、来館者が何度も足を運びたい記念館となるよう、今後も充実を図る。令和元年度は、イラストレーター山本正子氏の原画展やストップモーションアニメ「ごん」の世界展など、ビジュアルを通して興味を引き出す展示に力を入れ、南吉ファン以外の広い層への訴求を図る。
課等長	1次評価(30年度の総括評価)					
B	第6次総合計画、第2次生涯学習推進計画の各推進項目を、前年度以上に効果的・効率的に改善推進できた。企画展開催事業:時宜、全国発信、インスタ映えと体感性、イベント効果等を意識し、工夫した結果、展示の新鮮さを保ちつつ、南吉文学への関心を高めることができた。 童話賞事業:情報発信充実(チラシ一新、市内小中学校直接依頼)、ノベルティ効果、入選作品集のグレードアップ等を行った結果、前年度を大きく上回る応募数を得ることができた。 一般事務:来館者数、ガイド案内数は、記録的猛暑、天候不良(暴風臨時休館)、施設(空調・照明設備)改修に伴う長期休館のため目標に届かなかったが、講座・教室の充実で参加者数は目標値を達成できた。南吉及びその文学への理解促進に繋がっており、来館者数は、年明けでは過去4年の平均よりも15%増となっている。					
部等長	2次評価(30年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	企画展開催事業に関しては、「赤い鳥」創刊100年という機と、ゆかりある施設との連携が奏効し、魅力ある展示になったことで南吉への親しみや理解をより深めることができた。企画展は例年の事業であり、事業内容の検討には相当な苦労もあると思うが、その成否は、文字通り「企画力」に掛かっている。今後もアンテナを高くして、様々な角度から南吉の魅力を発信していきたい。 新美南吉童話賞事業は、減少傾向であった応募数を、各学校への積極的なPR活動により増やすことができたことは、子どもたちの南吉文学への関心を高めるという観点においても称賛に価するものである。子どもの南吉文学への関心の高まりは読書好きになるきっかけとしても意義のある事であり、今後も全国へのPRとともに、市内の子どもたちに向けたPR活動を積極的に進めていきたい。					